

令和7年度 第3年次特別編入学
学生募集要項

人文社会学部

出願期間	令和6年 9月11日(水)～9月18日(水)
試験日	令和6年 10月26日(土)
合格発表	令和6年 11月15日(金)



琉球大学

人 文 社 会 学 部

令和7年度第3年次特別編入学学生募集要項

◎人文社会学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

教育理念・目的

（国際法政学科）

本学科は、法学・政治学・国際関係学を中心とする社会科学分野の教育研究を担っており、これら専門分野の学修と研鑽を通して、現代社会における諸問題を総合的かつ体系的にとらえて、問題の本質を見極め思考する人材の育成を目的としています。

（人間社会学科）

人間と社会に関する専門的な知と幅広い学際的な知を基に、誰もが個人の尊厳を保ち、自由・公平、そして安心・安全に生きることが出来る社会を形成できる人材を養成します。人間と社会に関する専門的な知識と豊かな学際的な知を有し、社会的弱者に配慮し、心豊かで安心・安全に暮らせる社会を実現するための実践力を身に付ける教育・研究を行います。

（琉球アジア文化学科）

沖縄・琉球を始めとする日本、中国、台湾、朝鮮半島などのアジア地域の文化について深く理解し、国際的なレベルで活躍できる人材、地域社会の発展に寄与できる人材の育成を目的としています。

求める学生像

（国際法政学科）

法学プログラム

人間社会や社会諸科学（特に法学）への深い関心、柔軟な思考力、主体的に学ぶ意欲、自己を表現する高い能力を持った人を求めています。

政治・国際関係学プログラム

人間社会や社会科学への深い関心、柔軟な思考力、主体的に学ぶ意欲をもった人を求めています。社会科学分野の専門科目を学ぶために必要な基礎学力と思考力、専門文献の読解力、情報リテラシーと論文執筆の基礎知識、対話や討論の能力を有している人を求めています。

（人間社会学科）

- 大学での学びの土台となる基礎学力を持ち、多面的な観点から物事を考察し、多様な人々と協働しながら自分なりの意見をまとめることができる人
- 思想・教育・心・社会に強い関心を持ち、よりよい生き方や教育・市民社会の発展・生活問題の解決に貢献したいと思う人
- すべての科目で十分な基礎学力を有し、論理的思考・問題解決能力に秀で、専門的学問分野・職業に対する目的意識が高く興味関心が明確な人

(琉球アジア文化学科)

研究対象である琉球アジア言語文化圏（沖縄、日本、中国、台湾、朝鮮半島）の言語、文学、文化、歴史、民俗などに強い関心と学習意欲を有し、彼我の相違と類似性の面に目を向けつつ主体的・積極的研究のできる人を歓迎します。

具体的には、下記の観点を持った人材を求めます。

- 専攻分野への強い関心、関連する資料・情報の収集に対する意欲
- 収集した資料や情報の整理・分析をとおして独自の視点から意見をもちうる能力
- 研究した成果を論理的にまとめて説得力のある発表ができる技能習得への強い意欲
- 他者との議論や意見交換をとおして多様な見解や価値観を学び、内省し、柔軟に修正・改善する姿勢

入学者選抜の基本方針

(国際法政学科)

法学プログラム

法学・政治学・国際関係学の分野の中から出題する小論文試験を課し、理解力・考察力・論理的思考力・記述力、専門科目に関する基礎学力を評価します。

出願書類（成績証明書、志願理由書）を踏まえた面接によって、基礎学力・意欲・目的意識・適性・表現力等を評価します。

政治・国際関係学プログラム

英語の試験を課し英語能力を評価します。

法学・政治学・国際関係学の分野の中から出題する小論文試験を課し、理解力・考察力・論理的思考力・記述力、専門科目に関する基礎学力を評価します。

出願書類（成績証明書、志願理由書）と、それを踏まえた面接による口頭試問を課し、意欲・目的意識・表現力・適性、編入後の修学に必要な基礎学力、対話や討論技術が備わっているかどうかを評価します。

(人間社会学科)

筆記試験によって専門分野に関する知識や、理解力、論理的思考力、記述力などを評価します。

また、面接によって編入学の動機、学習意欲、適性及び主体性・協働性などを評価します。

(琉球アジア文化学科)

筆記試験によって基礎的語学力および専門分野に関する知識、理解力、論理的思考力、記述力などを評価します。また、面接によって編入学の動機、学習意欲、適性、表現力などを評価します。

目 次

(人文社会学部)

1. 募集学科及び募集人員	1 頁
2. 出 願 資 格	1 頁
3. 出 願 手 続	1 頁
4. 出 願 書 類	2 頁
5. 試験日程及び選抜方法	4 頁
6. 試験科目及び時間	4 頁
7. 試 験 場 所	5 頁
8. 合 格 発 表	5 頁
9. 編入学の時期及び年次	5 頁
10. 入 学 手 続	5 頁
11. ノートパソコンの必携化について	5 頁
12. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）	6 頁
13. 編入学後の単位認定	6 頁
14. 災害等により被災した志願者の検定料に関する特例措置について	6 頁

受験に関する問い合わせ先

琉球大学人文社会学部学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL 098-895-9056 FAX 098-895-8187

E-mail : hbgakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

琉球大学人文社会学部ホームページ : <http://www.hs.u-ryukyu.ac.jp/>

琉球大学入試課ページ : <https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/>

令和7年度琉球大学人文社会学部 第3年次特別編入学学生募集要項

1 募集学科及び募集人員

学 科	募集人員	プログラム
国 際 法 政 学 科	4名 ※注1	法学プログラム 政治・国際関係学プログラム
人 間 社 会 学 科	4名	哲学・教育学プログラム 心理学プログラム 社会学プログラム
琉球アジア文化学科	2名	歴史民俗学プログラム 文学プログラム 言語学プログラム
計	10名	

※注1 国際法政学科の学力検査等は志望プログラム毎に行います。プログラム毎の目安人数は次のとおりです。 法学プログラム：2名、政治・国際関係学プログラム：2名

2 出願資格

- (1) 大学を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学、高等専門学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- (3) 旧国立工業教員養成所又は旧国立養護教諭養成所を卒業した者
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者で学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条に規定する者
文部科学大臣の定める基準とは、「修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上」です。
- (5) 高等学校の専攻課程、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることとその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定するものに限る。）
- (6) 修業年限4年以上の大学に2年以上在学（休学期間を除く。）し、62単位以上を修得した者又は令和7年3月をもって2年間在学し、62単位以上を修得見込みの者
- (7) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）附則第7条の規定により大学の第3年次に編入できる者
- (8) 外国において学校教育における14年以上の課程を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者

3 出願手続

- (1)出願期間：令和6年9月11日（水）～9月18日（水）17:00までに必着
- (2)出願方法：本募集要項のPDFファイルから、所定の様式を印刷および必要事項を記入した上で、出願書類一式を「書留速達」で郵送とします（人文社会学部第3年次特別編入学願書在中と朱書）
- (3)出願書類の印刷方法：カラー 又は グレースケール A4 普通紙（白紙）
以下の「4 出願書類」において、提出書類が2ページ以上となる場合は両面印刷（長辺左綴じ）で印刷し、ホッチキスは使用しない。
- (4)出願書類提出先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学人文社会学部学務係
TEL (098) 895-9056

4 出願書類

受験者の区分 提出書類	一般 注 1	備 考
①特別編入学願書 (A4)	◎	《本募集要項 8・9 ページ 両面印刷》
②受験票・写真票 (A4)	◎	《本募集要項 10・11 ページ 両面印刷》
③成績証明書又は 単位修得見込証明書	◎	出身校の長が作成し、厳封したもの ※外国語の場合は日本語訳を添付すること
④卒業証明書 又は卒業見込証明書	◎	大学中退又は大学在学中の者は在学期間証明書 (A4) 《在学期間証明書は本募集要項 12 ページ》 ※外国語の場合は日本語訳を添付すること ※所定の様式の全ての項目が確認できるのであれば任意様式可。
⑤受験資格証明書 (A4)	○	専修学校出身者の出身学校が発行する証明書で修了した専門課程、文部科学大臣の定める基準を満たしていること
⑥検定料納付証明書 (大学用) 又は 振込を証明できる明細書	◎	《本募集要項 14 ページ》 検定料：30,000 円 検定料振込期間： 令和 6 年 9 月 4 日 (水) ～ 9 月 18 日 (水) ※検定料を最終日に振り込む場合は、当日 17 時までに出願書類一式を提出しなければならないので注意してください。 《振込方法及び留意事項は注 2 参照》
⑦志願理由書 (A4)	◎	《本募集要項 16～19 ページ 両面印刷》
⑧志願者整理票 (A4)	◎	《本募集要項 24 ページ》
⑨受験承諾書 (A4)	○	《本募集要項 26 ページ (有職者のみ)》
⑩住民票の写し	○	外国籍を有する者で、市区町村発行の出願前 1 ヶ月以内に交付されたもの
⑪パスポートの写し	○	外国籍を有する者のみ提出
⑫受験票送付用封筒	◎	志願者の郵便番号、住所、氏名「人文社会学部第 3 年次特別編入学受験票在中」と明記し、344 円分注 3 の切手 (速達) を貼った返信用封筒 (長 3 封筒 23.5cm×12cm) を提出すること。 受験票が 9 月 30 日 (月) までに届かない場合は、必ず本学部に連絡してください。

注 1 ◎印は必ず提出する書類、○印は該当する方が提出する書類です。提出書類に不備等がある場合は、出願を受け付けられません。

注 2 検定料について

1) 振込方法

振込は、a.銀行窓口、b.ATM 又はインターネットバンキングを利用することができます。
なお、振込の際には金額の誤りに十分にご注意ください。
また、振込手数料については、志願者本人負担となります。

a. 銀行窓口

検定料振込書に必要事項を記入のうえ、検定料振込書に記載の「記入上の注意」をよく読み、最寄りの金融機関から振り込んでください。

※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関備付の振込依頼書で振り込んでください。

振込名義を必ず志願者本人にして、氏名の前に募集区分（182）を入力してください。

例)

1	8	2	タ	ゝ	イ	カ	ゝ	ク	タ	ロ	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

振込先口座、金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。

受領書の写しを「検定料納付証明書（大学用）」の代わりに提出してください。

b. ATM 又はインターネットバンキング

※ATM 利用の場合はキャッシュカードを利用し振り込んでください。

振込名義を必ず志願者本人にして、氏名の前に募集区分（182）を入力してください。

例)

1	8	2	タ	ゝ	イ	カ	ゝ	ク	タ	ロ	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

・氏名を記入した「検定料納付証明書（大学用）＊1」の原本及び「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し＊2」を志願書類に同封して提出してください。

＊1「検定料納付証明書（大学用）」…検定料振込書の左端。取扱金融機関収納印は必要ありません。

＊2「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」の裏面に募集区分（182）・氏名を記入してください。

2) 留意事項

ア. 検定料が振り込まれていない場合、「検定料納付証明書（大学用）」が出願書類に同封されていない場合、a. 銀行窓口利用で「検定料納付証明書（大学用）」に取扱金融機関収納印がない場合及び b. ATM 又はインターネットバンキング利用で「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」を志願書類に同封されていない場合は、出願書類を受理しません。

イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

①検定料を振り込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）

②誤って検定料を二重に振り込んだ場合

③特例措置対象者（7ページ）が検定料を振り込んだ場合

※上記①、②に該当する場合は、本募集要項 20 ページの「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し、払い戻しの理由を選択のうえ、「検定料納付証明書（大学用）」を同封して下記へ送付してください（封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください）。

（返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。）

ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受領後 2～3 ヶ月程度かかります。）

送付期限：令和 7 年 3 月 31 日（月）

送付先：9 0 3 - 0 2 1 3 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL：098-895-8058

※上記③に該当する場合は、返還手続（7ページ）を行ってください。

注 3 郵便料金が増額となる場合がありますので、郵便局等で料金を確認した上で、切手を貼ってください。

【注意事項】

1. 出願手続後は、出願書類の返却、記載事項の変更及び検定料の払い戻しはできません。

（災害等により被災した志願者の検定料については、特例措置を実施（7ページ））

2. 外国語の証明書には日本語の訳文をつけること。

3. 外国の学校の出身者は次の資料を揃えて、事前に人文社会学部学務係に問い合わせること。

(1) 出身校の位置づけが分かる資料（日本語の訳文をつけること。）

(2) 単位換算が可能かどうか判断できる資料（日本語の訳文をつけること。）

・卒業証明書

・成績証明書

・学生便覧及び授業時間割（カリキュラムの内容がすべて分かる資料。）

・履歴書（小学校から現在まで、在学した順に記載すること。）

5 試験日程及び選抜方法

(1) 試験期日： 令和6年10月26日（土）※

(2) 選抜方法： 筆記試験，小論文，面接，出願書類の結果を総合して行います。

※暴風警報の発令等で上記期日に試験が実施できない場合は，琉球大学人文社会学部ホームページ (<https://www.hs.u-ryukyu.ac.jp/>) において周知の上，11月4日（月）に試験を行います。

6 試験科目及び時間

学科	学力検査等			時間
国際法政学科	(学科共通試験)	筆記試験	(小論文) 専門分野の基礎知識，理解力， 考察力，論理的思考力，記述 力，完成度等を評価する。	10：50～12：50（120分）
	(法学プログラム)	面接	基礎学力，意欲，目的意識，適 性，表現力等を評価する面接を 行う。	14：00～
	(政治・国際関係学 プログラム)	筆記試験	(外国語) 英語	9：00～10：30（90分）
		面接	口頭試問により，意欲，目的意 識，適正，表現力，編入後の修 学に必要な基礎学力，対話や討 論技術等を評価する。	14：00～
人間社会学科	筆記試験	(外国語) 英語，中国語の中から1科目選択 (小論文) 哲学・教育学，心理学，社会学の 3分野の基礎問題から志望するプロ グラムの分野を選択する		【外国語】 9：00～10：30（90分） 【小論文】 10：50～12：50（120分）
	面接	編入学の動機，学習意欲，適性及び主体性・ 協働性を評価する面接を行う。		14：00～
琉球アジア 文化学科	筆記試験	(外国語) 英語，中国語の中から1科目選択 (科 目) 琉球アジア文化（歴史・民俗学， 言語学，文学）に関する基礎問題か ら1つを選択		【外国語】 9：00～10：30（90分） 【基礎問題】 10：50～12：50（120分）
	面接	意欲，目的意識，適性，表現力等を評価する 面接を行う。		14：00～

配点

学 科	配点					合計
	外国語	小論文・科目	学業成績表	志願理由書	面接	
国際法政学科 (法学プログラム)		100			100	200
国際法政学科 (政治・国際関係学 プログラム)	100	100			100	300
人間社会学科	100	200			200	500
琉球アジア文化学科	100	200			200	500

7 試験場所：琉球大学文系講義棟

- ※ 同日・同会場で琉球大学国際地域創造学部令和6年度特別編入学試験が行われます。
- ※ 試験前日の午後3時以降に、文系総合研究棟1階（建物配置図参照）及び試験場建物入口に試験室配置図を掲示します。できるだけ試験室の下見を行ってください。
- ※ 試験当日は、試験開始20分前までに試験室前に集合してください。

8 合格発表

令和6年11月15日（金） 午後1時30分

琉球大学人文社会学部ホームページ（<https://www.hs.u-ryukyu.ac.jp/>）で掲示いたします。
また、文系総合研究棟玄関ロビーに掲示するほか、合格者に合格通知書を送付します。

9 編入学の時期及び年次

令和7年4月1日とし、第3年次とします。
修業年限は2年とし、休学した場合を除き、修業年限の2倍を超えて在学することはできません。

10 入学手続

入学手続書類は、令和7年2月上旬までに合格者あてに「入学手続案内」を送付するので、それに従い入学手続を行ってください。

ア 入学手続期間 令和7年2月12日（水）～2月13日（木）
入学手続については、合格者あて別途通知します。

イ 入学料及び授業料（予定）

区 分		昼間主コース
入 学 料		282,000 円
授 業 料	前期分	267,900 円
	後期分	267,900 円
	年 額	535,800 円

- （注）①上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。
- ②授業料の納付については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。
- ③入学料の免除又は徴収猶予あるいは授業料の免除を希望する者（対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。）は所定の免除申請手続を行うことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の納付が猶予されます。

11 ノートパソコンの必携化について

本学では、高度情報化社会において情報通信技術の活用能力を有する人材を育成すること、情報通信技術を活用し様々な授業方法やメディアを利用した教育を実践すること、各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として、令和4年度入学生から、ノートパソコン等を必携としております。ノートパソコン等の性能などについては、本学ホームページに掲載しておりますので、必ずご確認ください。

なお、条件を満たすノートパソコン等を既にお持ちの方は、新たに購入する必要はありません。

【URL】 <https://www.u-ryukyu.ac.jp/campuslife/curriculum/pc-hikkei/>

1 2 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）

障がい等を有する者、疾病・負傷等により受験上の配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項については、本学において検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。検討結果通知書の受領後は、記載事項を確認のうえ同封の書類をご返送ください。

また、受験時における合理的配慮の手続きには2～3週間を要します。合理的配慮の内容によっては、対応にさらなる時間を要する場合があります。事前相談は随時受け付けておりますので、早めの相談、申請書の提出をお願いします。

受験時に限らず、入学後における修学上の配慮希望については、随時相談を受け付けておりますので、下記の問い合わせ先までご相談ください。

(1) 申請期限 令和6年8月26日(月)(消印有効)

※申請期限後の書類については、受理しませんのでご注意ください。なお、申請期限後に不慮の事故等(交通事故、負傷、発病等)のため、受験上の配慮を希望する場合は、下記問い合わせ先までご相談ください。

(2) 申請方法

以下の書類を、障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

- ① 「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」（本学指定の様式）
- ② 「医師からの意見書」（本学指定の様式）
- ③ その他検討する際に必要な参考資料

※上記①及び②の本学指定の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ（<https://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/>）「支援を希望される皆様へ」よりダウンロードできます。

※必要に応じて、追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は、本学において志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

問い合わせ先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
全保連ステーション（大学会館）2階
琉球大学 障がい学生支援室

電話：098-895-8750

FAX：098-895-8791

Eメール：g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

1 3 編入学後の単位認定

入学前に大学等で修得した単位を、本学における授業科目の単位として読み替える申請があった場合、既得科目の内容が、原則として認定を希望する本学の授業科目と同等とみなされ、かつ、単位数が同一又は多い場合に限り、本学の当該授業科目の範囲内で認めることがあります。

高等専門学校については、既得科目のうち、高学年（4・5学年）で開講される科目を認定の対象とします。ただし、高学年以外の授業科目であっても、内容が大学学部の授業科目と同程度であることが証明できる場合、認定することがあります。

単位認定の申請に際しては、単位認定資料（授業内容・評価方法・評価基準が確認可能なシラバス、成績証明書など）など、前在籍校へ取り寄せるために時間がかかる必要な資料もありますので、時間に余裕をもって準備して下さい。

1 4 災害等により被災した琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について

琉球大学では、入学者選抜に関して、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特例措置を実施することとしましたのでお知らせします。

1. 特例措置の対象（入試区分）

第3年次特別編入学入試

2. 措置内容

検定料の免除

昼間主コース 30,000円

3. 免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類
災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	ア又はイの書類
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	罹災（りさい）証明書
イ. 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

4. 申請方法

本学所定の様式（検定料免除申請書 ※本募集要項 22 ページ）に、罹災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。

なお、申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。

5. 返還手続

すでに納付した「検定料」の返還を希望する場合（「3 ページ、注 2 の 2）留意事項イ. ③」参照）は、本学所定の様式（返還金払戻請求書 ※本募集要項 20 ページ）に、罹災証明書等を添えて、人文社会学部学務係へ申請してください。

※返還金払戻請求書の提出期限は、令和 7 年 3 月 31 日（月）です。

6. 提出先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

国立大学法人 琉球大学人文社会学部学務係

電話 (098)-895-9056

— 個人情報の取り扱いについて —

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の氏名等を入学後の学籍管理など、修学に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続き者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など、修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。
- (6) 本学の関連団体である琉球大学同窓会、琉球大学後援会、各学部・学科同窓会及び各学部・学科後援会及び琉球大学生生活協同組合に、氏名等の個人情報を当該組織の活動に必要な範囲において提供する場合があります。

* 本学が取得した個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」第 18 条、第 27 条及び第 28 条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく他の目的で利用、又は第三者に提供することはありません。

第3年次特別編入学願書

志願学科			受験番号	※
フリガナ 氏名				
生年月日	昭和・平成	年	月	日
		本籍	都・道・府・県	
フリガナ 連絡先				
	〒		携帯電話 ()	—
			メール	
出願資格	都道国立・公立・私立	学部	学科	
	府県	大学・短期大学	課程	
		高等専門学校	年 月	卒業・卒業見込 退学・年在学中
不在時の 連絡先	フリガナ			本人との続柄
	氏名			
	〒	電話 ()		—
履歴 〔高等学校卒業以後の 学歴，職歴等を年月 順に記入すること。 ない場合は，「なし」 と記入すること。〕	年 月	()	高等学校卒業	
	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			
志望学科・プログラム (裏面参照)	学科		プログラム	
学 科	【選択科目】 受験すべき1科目を○で囲むこと。			
人間社会学科	外国語	①英語 ②中国語		
	小論文	①哲学・教育学 ②心理学 ③社会学 ※志望するプログラムの分野を選択する		
琉球アジア文化学科	外国語	①英語 ②中国語		
	基礎 問題	①歴史・民俗学 ②言語学 ③文学		

備考 (1) ※印欄は記入しないこと。

(2) 裏面の「記入要領」を参照すること。

第3年次特別編入学願書記入要領 (人文社会学部)

入学願書の記入にあたっては、黒のボールペンを使用し、文字は楷書、数字は算用数字で正確に記入すること。

1. 志望学科・プログラム

志望学科及びプログラムについては、出願後の変更が認められないので、特に慎重に記入すること。

入学後、どのプログラムを希望するか、を次のいずれから選択し「志望学科・プログラム」欄に記入すること。

学 科	プログラム
国 際 法 政 学 科	法学プログラム 政治・国際関係学プログラム
人 間 社 会 学 科	哲学・教育学プログラム 心理学プログラム 社会学プログラム
琉球アジア文化学科	歴史民俗学プログラム 文学プログラム 言語学プログラム

2. 氏名

氏名は、戸籍上の氏名を記入すること。

3. 本籍地

外国人の場合は、国籍を記入すること。

4. 連絡先

大学からの通知等は、すべてこの住所あてに行うので正確に記入すること。変更があった場合には、人文社会学部学務係に連絡すること。

5. 出願資格

出身学校の所在地（都道府県のみ）、設置者の別（国立、公立、私立の該当する文字を○で囲むこと）、学校名、学部名、及び学科名・専攻課程名を記入すること。

令和7年度 琉球大学
人文社会学部 第3年次特別編入学
受 験 票

受験番号	※		
志望学科	学 科		
志望プログラム	プ ロ グ ラ ム		
フリガナ			
氏名			
外国語選択科目 (※国際法政学科以外)			
人間社会学部の小論文選択 琉球アジア文化学科の基礎問題			

写 真 貼 付 欄

○上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影したもの(縦4cm×横3cm)
○写真の裏に氏名を記入して貼付すること。

- (記入上の注意)
1. 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入すること。
 2. 該当する事項は○で囲むこと。
 3. ※印欄は、記入しないこと。

受験心得	(1) 試験前日の午後3時以降に文系講義棟の試験場を確認し、試験当日は試験開始20分前に試験室前へ集合すること。 (2) 試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。 (3) 不正行為のあった者は、直ちに退場を命じます。 (4) 受験に際しては、本受験票を必ず持参すること。
------	---

試験期日、試験時間割及び試験場

期日	試験科目	時間	備考	場所
令和6年 10月26日 (土)	外 国 語	9:00 ~ 10:30	法学プログラム受験者は除く	文系講義棟
	小論文又は科目	10:50 ~ 12:50		
	面 接	14:00 ~		

令和7年度 琉球大学
人文社会学部 第3年次特別編入学
写 真 票

受験番号	※		
志望学科	学 科		
志望プログラム	プ ロ グ ラ ム		
フリガナ			
氏名			

写 真 貼 付 欄

○上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影したもの(縦4cm×横3cm)
○写真の裏に氏名を記入して貼付すること。

※ 出 欠 欄	

- (記入上の注意)
1. 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入すること。
 2. 該当する事項は○で囲むこと。
 3. ※印欄は、記入しないこと。

在学期間証明書

学籍(学生)番号

氏 名

生年月日 昭和・平成 年 月 日

上記の者について、以下のとおり証明する。

_____年__月__日 入学

_____年__月__日 現在 第__学年在学中

退 学

その他 (_____)

休学期間なし

休学期間あり 休学期間 (_____年__月__日～_____年__月__日)

(_____年__月__日～_____年__月__日)

令和 年 月 日

(大学長又は学部長名)

印

証明書発行ご担当者へ

該当する項目について、欄には✓、又は○で囲み、下線部をご記入の上、証明くださいますようお願いいたします。

振込上の注意

- 「検定料振込書」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日、入学志願者氏名（フリガナ）、住所、電話番号、振込先（枠内に○印）》
- 振込手数料については、志願者本人負担となります。
- 金融機関窓口から「検定料納付証明書（大学用）」を受け取る際は、**取扱金融機関収納印が押印されているか確認**してください。
- 「検定料納付証明書（大学用）」は**出願書類に同封して提出**してください。
- 以下の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関に備え付けの「振込依頼書」で振り込んでください。その後、振込依頼書の控え（写し可）及び氏名を記入した「検定料納付証明書（大学用）」の原本を出願書類に同封して提出してください。振り込みの際は、振込人氏名（志願者本人）の前に必ず募集区分（182）を付してください。

人文社会学部

検定料納付証明書（大学用）

★出願書類に同封して提出してください。

※依頼日	年 月 日								
金額	¥30,000	—							
※振込先	琉球銀行首野湾支店（普通）	428711							
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366							
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358							
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859							
※募集区分	182								
※（志依頼者）氏名	（フリガナ）								
	氏名								
令和7年度 人文社会学部 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書



（取扱店→振込人→大学）

検定料振込書

（振込前に志願者で切離し）

※依頼日	年 月 日								
振込金額	¥30,000	—							
※振込先	琉球銀行首野湾支店（普通）	428711							
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366							
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358							
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859							
受取口座名	国立大学法人 琉球大学								
※（志依頼者）氏名	（フリガナ）								
	氏名								
令和7年度 人文社会学部 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書

上記のとおり領収しました



（取扱店→振込人）

※依頼日	年 月 日								
振込金額	¥30,000	—							
※振込先	琉球銀行首野湾支店（普通）	428711							
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366							
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358							
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859							
受取口座名	国立大学法人 琉球大学								
※（志依頼者）氏名	（フリガナ）								
	氏名								
令和7年度 人文社会学部 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書	琉球大学 検定料納付証明書

取扱店へのお申し込み
 ○太枠内をお願い
 ○募集区分を打電してください。
 番号・フリガナの順に打電してください。
 （振込時金融機関で切離し）

（電話番号）



（取扱店用）

志 願 理 由 書

琉球大学人文社会学部長 殿

人文社会学部 _____ 学科 _____ (プログラム) _____

志願者氏名 _____

志願理由書作成についての注意

1. この志願理由書は、本人が自筆すること。
2. 当該学科・(プログラム)を志願する理由、将来の計画、自分の長所及び特技等について自薦書となるように書くこと。
琉球アジア文化学科を志望する受験生は、編入後に研究を希望する分野を具体的に書くこと。
(例: 琉球文学)
3. この志願理由書は、横書き 800 字以内で書くこと。
4. 志願理由書の作成にあたっては、16 ページから 19 ページまでを両面印刷(長辺左綴じ)とすること。
5. ※印は記入しないこと。

NO. 1 氏名

受験番号※

NO. 2 氏名

受験番号※

返還金払戻請求書

琉球大学長 殿

請求者

〒

住 所

フリガナ

氏 名

電話番号 _____

私が令和 年 月 日に納付した検定料 円について、以下の理由により払い戻しを請求します。

1. 誤納
2. 出願辞退 ※受験辞退ではなく、出願しなかった方が対象です。
3. 書類不備等による出願書類の不受理
4. 災害等による入学検定料の特例措置に該当
5. その他()

次の銀行口座へ振り込んでください。

フリガナ			保護者名義の場合の続柄
口座名義			
取引金融機関名 本・支店名	銀行	支店	
預金種別	1 普通	2 当座	
口座番号	(店番)	-	(口座番号)

預金種別欄は、該当項目番号を○で囲んでください。

[注意]

- ※ 請求者は志願者本人としてください。
- ※ 保護者等、請求者以外の口座名義を指定する場合は、続柄も記入してください。
- ※ ゆうちょ銀行口座へ振り込を受ける場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
- ※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
- ※ 返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。

取扱金融機関収納印が押印された検定料納付証明書(大学用)をこの枠内に貼り付けのうえ、ご提出ください。

※払戻理由のうち、4. 災害等による入学検定料の特例措置に該当を選択された場合は貼り付け不要です。

※各金融機関備付の振込依頼書で振り込んだ場合は、受領書を同封ください。

送付先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
TEL:098-895-8058

検定料免除申請書

令和 年 月 日

琉球大学長 殿

(請求者)

受付番号 (大学側で記入)

入学者選抜試験の種類

■第3年次特別編入学入試

出願学部 人文社会学部 _____ 学科 _____ プログラム

フリガナ

志願者氏名

住 所

電 話

災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害において、下記のとおり被災しましたので、罹災証明書等を添付の上、検定料の免除を申請します。

記

被災状況 (該当箇所をチェックしてください。)

- 全壊 大規模半壊 半壊 流出
主たる家計支持者が死亡又は行方不明
福島第一原子力発電所事故による避難区域等

(記入上の注意)

1. この検定料免除申請書はコピーして使用してもかまいません。

志 願 者 整 理 票 (令和7年度 第3年次特別編入学用 人文社会学部)

志願者氏名 () 楷書で枠からはみ出さないように記入してください。

受験番号 (記入しないこと)	(フリガナ) 志願者氏名	出身学校 が所在する 都道府県名	(フリガナ) 出身学校の名称
※			
	姓	名	

合格通知書送付先 (合格通知書送付先の郵便番号、住所、氏名を楷書で正確に記入すること。)

住 所	(〒 -)

氏 名	殿
(受験番号※)	

※ 印欄は記入しないこと。

入学手続案内書の送付先

住 所	(〒 -)

氏 名	殿
(受験番号※)	

※ 印欄は記入しないこと。

受 験 承 諾 書 (人文社会学部)

令和 年 月 日

琉球大学人文社会学部長 殿

受験者の職名

氏名

上記の者が、貴学部第3年次特別編入学試験を受験することを承諾します。

氏 名

㊦

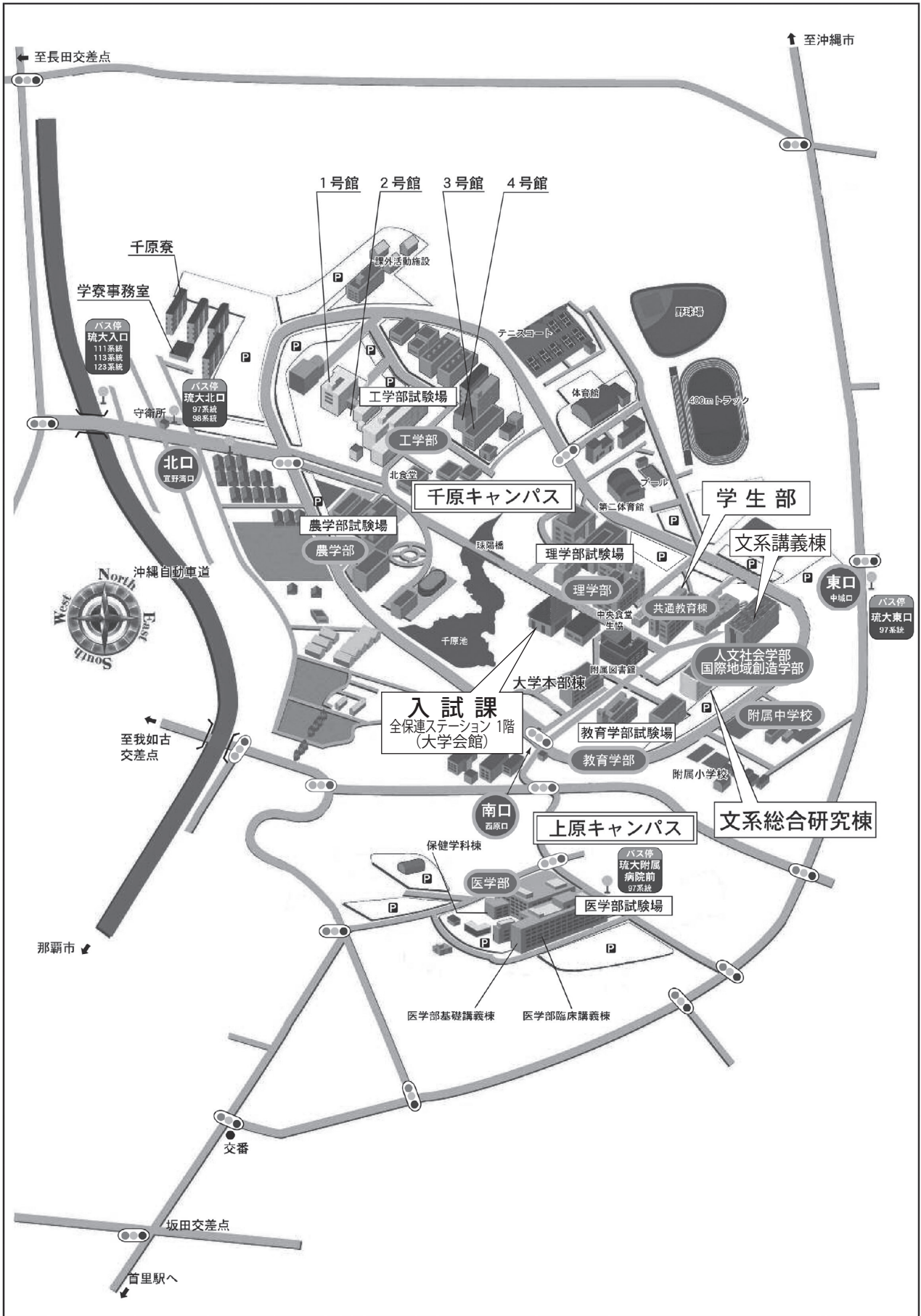
本人との関係

事業所等名

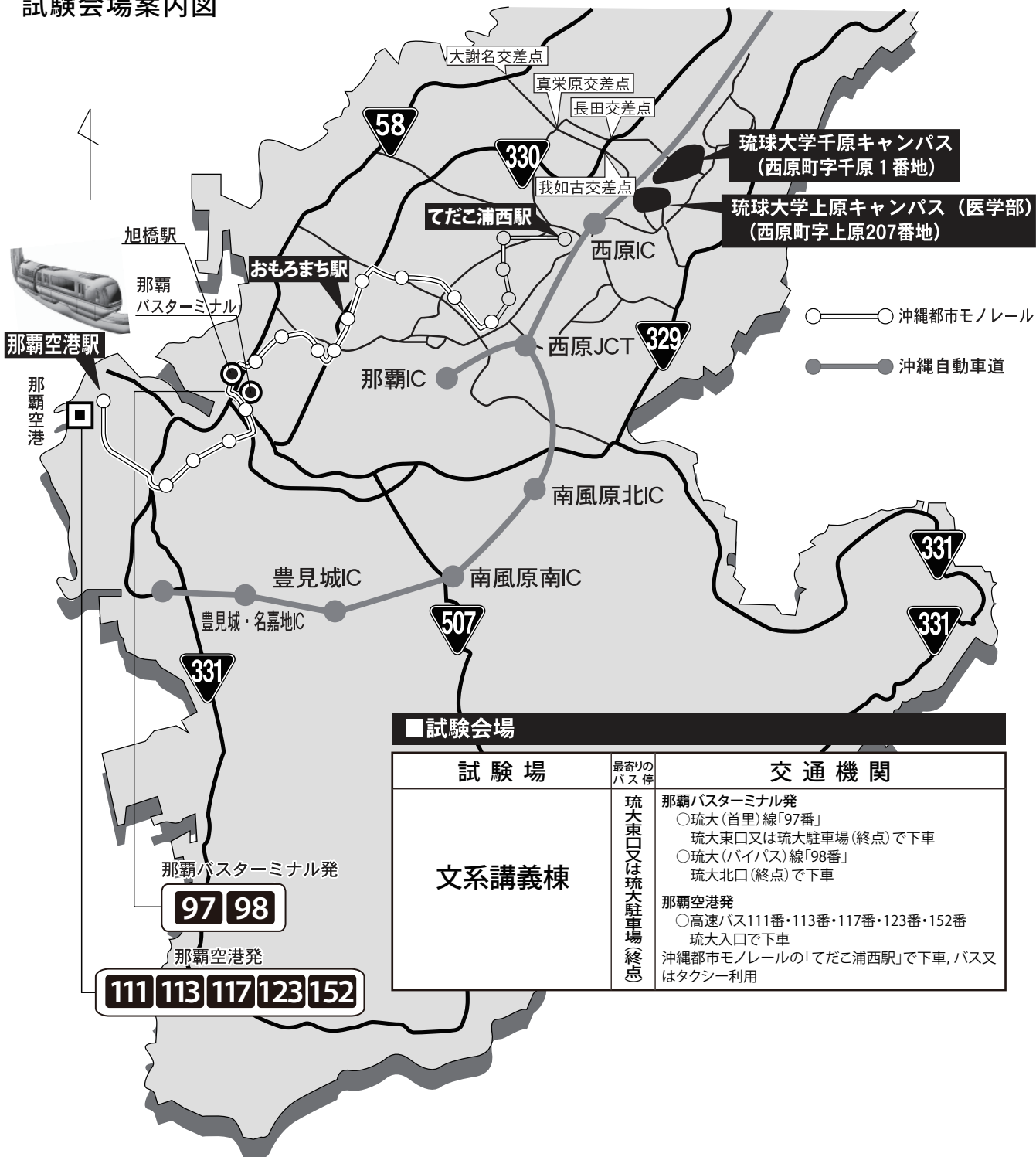
現 住 所 〒

電 話 ()

○試験会場案内図



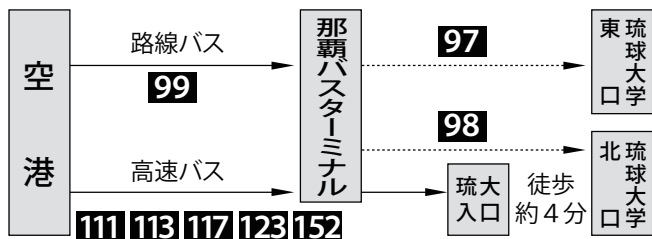
琉球大学(千原キャンパス) 試験会場案内図



試験会場	
試験場	交通機関
文系講義棟	最寄りバス停 那覇バスターミナル発 ○琉大(首里)線「97番」 琉大東口又は琉大駐車場(終点)で下車 ○琉大(バイパス)線「98番」 琉大北口(終点)で下車
	那覇空港発 ○高速バス111番・113番・117番・123番・152番 琉大入口で下車 沖縄都市モノレールの「ただこ浦西駅」で下車、バス又はタクシー利用

■空港からバスで琉球大学へ

人文社会学部・国際地域創造学部試験会場



■空港からモノレールで琉球大学へ

